

園芸部ホームページ

活動日・・・平日の週2日(今年度は 月曜日と木曜日) 夏休み、春休みも同様です。

活動場所・・・校舎西側に広がる農場にある園芸部の畑 (約400㎡ 結構広いです)

温室 (棚1列弱)

校舎内 D-208教室 (調理可能、冷暖房完備)



広々とした風景の中で汗をかいて勉強の合間のリフレッシュ。収穫物は調理してみんなで味わいます。

園芸部は青梅総合高校の開校前、当地にあった農林高校から引き継いだ畑や温室などを利用して活動できる恵まれた環境にあります。現在は、比較的手間のかからない広い面積を必要とする作物(ジャガイモやスイカなど)と狭い面積でも手間のかかる作物(トマトやキュウリなど)を組み合わせせて栽培しています。



スイカ畑(奥の方はマクワウリ畑) 8月1日撮影



ジャガイモの収穫(青総祭で販売予定) 7月9日撮影

ジャガイモやスイカなどは部員全員で協力して作業をする「共同作エリア」、トマトやキュウリなどは個々の部員が好きな作物を各自の責任で栽培する「自由作エリア」で栽培しています。



スイカの苗の定植。「定植」とは・・・別の場所で育てた苗を畑に植える作業のこと。



イチゴの収穫。合計7品種のイチゴを栽培しています。農場に棲みついているタヌキなどにも狙われるほど甘くて美味しいイチゴです。



タヌキなどの獣の被害を防ぐためにネットのトンネルを作りました。

毎年、イチゴの収穫適期は中間試験の頃、ジャガイモの収穫適期は期末試験の頃なのですが、なんといっても学生の身分。テストが終わったら収穫です。

夏休みに入ると「学校見学会」で中学生のみなさんに収穫したスイカを試食していただいたり、9月にある「青総祭」の準備をしたりと、地域の方々との交流の場が増えます。

《去年の学校見学会より・・・2017年8月4日撮影》



農場の案内と農業科目の説明



ブルーベリー収穫体験で完熟果実の見分け方の説明



この日の朝に収穫したスイカを冷やし・・・ 農場見学で喉が渴いた皆さんに試食していただきました。



《今年の学校見学会より・・・2018年8月21日撮影》

今年は猛暑の中の農場見学となったことで、来校された方々の熱中症を予防するために、ブルーベリー収穫体験は中止にさせていただきました。園芸部の畑のスイカは十分な日照に恵まれ豊作でした。

日陰で風通しの良い渡り廊下で園芸部の活動紹介や農業科目の説明のパネルを見ながら冷たいスイカを召し上がっていただきました。



《今年の「青総祭」より 準備～当日まで》

昨年は「いろいろな年齢層の方々に楽しんでいただける内容にしよう。」という目標を掲げ、部員のみんなで知恵を出し合い、「おじぎ草」の門装飾・飲み物サービス付の休憩所とジャガイモ販売・そして休憩所のテーブルには「おじぎ草」の鉢植えと「盆栽」と「野菜の手作りパンフレット」を置きました。

盆栽づくり…休憩所を癒しの空間にするために



モミジとコケを使った盆栽づくり。モミジは盆栽置場の農業科のものをいただき、コケは青総の敷地内から集めました。

門装飾の準備・・・来校される方々をあたたかく迎えるために



青総祭当日



ジャガイモ販売。好評だったので今年もやります。

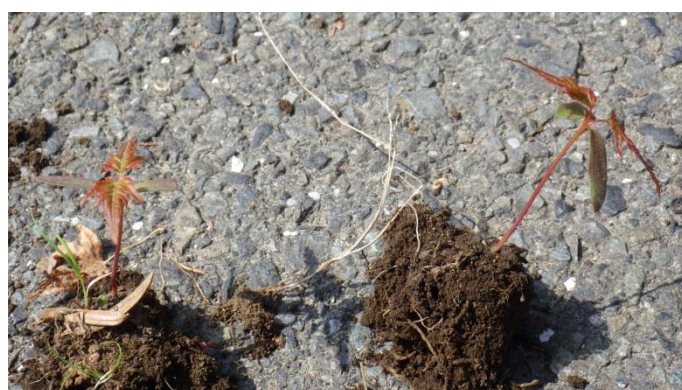


製菓・製パン部のお客様も立ち寄り、
オジギソウに興味津々。

《今年の「青総祭」に向けての準備》

今年も「いろいろな年齢層の方々に楽しんでいただける内容にしよう。」という目標を掲げ、準備を始めています。

今年の4月には後輩たちのために前庭の大きなモミジの樹の下からこぼれた種から発芽した実生苗を植え替えて育てています。 ↓



4月2日に前庭の大きなモミジの樹の下に落ちた種から芽を出した実生苗を植え変えました。



植え替え 3週間後のモミジ (4月27日撮影)



植え替え 4か月後のモミジ (8月3日撮影)

子供たちに楽しんでもらうために、今年も「オジギソウ」を育てています。

夏休みに入ってすぐに種をまき、7月中に発芽して・・・





発芽から半月後(8月13日)、鉢に植え替えました。



植え替えから1週間後の8月20日



体はまだ小さくても触れるとしっかり葉を閉じます。

他の文化系の部とのコラボ企画も行っており、今年度の予定は「青総祭」の門装飾で文芸部と協力し、正月には日本文化部・製菓製パン部とコラボしてゴボウを使った珍しい和菓子「花びらもち」を作ってお茶会をする予定です。

地域の方や中学生とその保護者の方楽しんでいただくために9月15日(土)16日(日)の青総祭にむけての企画も準備中です。皆様のご来校をお待ちしております。